

令和元年度教育事業

ボランティア養成研修兼自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業 「やる気！元気！ボランティア」

1 趣 旨

- ・ ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り、ボランティアとしての資質を高め、広く社会でボランティア活動に取り組める青少年を育成する。
- ・ 全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて安全な活動を指導できる人材を養成する。

2 日 程

- (1) 期 日 令和元年6月14日（金）～6月16日（日）【2泊3日】
- (2) 参加者 31名（大学生 29名、社会人 2名）
- (3) 研修内容及び講師

1日目 (6/14)	○受付 18:30、開講式 19:00 ○「心と体をほぐして仲間を作ろう♪」講師：etc.works 尾塩 苑 ○「子供たちの前に立つ前に…心構えや倫理観」講師：etc.works 尾塩 苑
2日目 (6/15)	○「自然体験活動の楽しさって？意義って？」講師：キープ協会 部長 鳥屋尾 健 ○「安全に活動するために～救命救急法講習～」講師：日本赤十字社石川県支部指導員 ○「能登の活動を体験しよう♪野外炊飯編」講師：交流の家 職員 ○「能登の活動を体験しよう♪ナイトハイク編」講師：交流の家 職員
3日目 (6/16)	○「体験でたくましい子供を育てる」講師：金沢星稜大学 教授 池田 幸應 ○「子供たちを理解するために必要なこと」 講師：富山福祉短期大学 准教授 小川 耕平 ○「ボランティアってなあ～に？」講師：新潟青陵大学 准教授 中野 充 ○「能登青少年交流の家って、どんなところ？」講師：交流の家 職員 ○「広がれ！のとボラのWA！」講師：先輩ボランティア、交流の家 職員 ○閉講式 17:30、解散 18:00

3 成果と課題

- (1) アンケートによる事業評価

教育事業アンケートの満足度（「満足」と「やや満足」の評価割合）は、事業全体、事業運営、職員の指導・助言や対応の3項目において100%であった。

【事業全体の満足度】	満足：66.7%、やや満足：33.3%
【プログラム（講義・活動）の満足度】	満足：66.7%、やや満足：29.6%
【事業運営の満足度】	満足：92.6%、やや満足：7.4%
【職員の指導・助言・対応の満足度】	満足：88.9%、やや満足：11.1%

<参加者の記述より>

- 自然体験活動について多く学ぶことができた。
- スタッフや先輩ボラの方達がとても優しく接してくれた。
- 実際に体を動かした体験もあり、ためにもなりました。
- 安全管理及びリスクマネジメントにもっと時間を割いて欲しかった。

(2) 成果と課題

《成 果》

- ・ 先輩ボラとして来てもらった学生ノートックの学生に直接広報したことで所属学生 21 名が参加し、講師である金沢星稜大学池田先生のご協力でも金沢星稜大学の学生が 5 名参加した。また金沢学院大学の学生や社会人の参加者もあり、関係団体や関係講師以外からの参加者もいた。
- ・ 先輩ボランティア 3 名に事業運営に携わってもらうとともに、能登でのボランティア活動の紹介やボランティア活動を通して感じたことを話す時間を設けた。そのことにより、参加者のアンケートからも「とてもわかりやすかった」との回答があった。

《課 題》

- ・ 昨年同様に、学生ノートックの学生が多く、他大学や社会人の参加者数は少数であった。大学の単位認定や講師である大学教授との連携を視野に入れた、幅広く参加者を募る方法を検討したい。
- ・ NEAL 科目の時間時数との兼ね合いで、1 日目の始まりが金曜日 19 時開始となった。学生にとっては、事業のある平日始まりは、参加検討のマイナス要素になると考えられる。ボランティア養成事業と NEAL リーダー養成事業を分け、それぞれ1泊2日で実施することも検討したい。
- ・ 本事業を受講した参加者が、継続して能登でのボランティア活動に関わってもらえるよう、学んだことを実践できる機会、ボランティア同士が交流できる機会、いずれもボランティアを育てるという意識をもって取り組むことが大切である。

